

令和5年度幼稚園学校評価（東幼稚園）

分野	評価項目	評価の着眼点	自己評価		学校関係者評価	評価結果を踏まえた今後の取組
			達成及び取組状況	評価		
教育課程・指導	①学年・学級経営	教職員は、教育目標の達成を目指した学級経営を行っているか。	○保護者アンケートの「子供は、幼稚園に行くことを楽しみにしている」「幼稚園では、園の特色や実態を生かした教育活動が行われている」の項目では、ほぼ全ての保護者がプラス評価だった。子供達の発達に応じた保育の工夫を感じていただけたとものと捉えている。 ○しかしながら、一部マイナス評価もあり、子供達全員が「東幼稚園は楽しい！」と思えるような取組をめざしていきたい。	3	【①学年・学級経営】 ・幼稚園に行くことを楽しみにしている」のプラス評価が高いことは、魅力ある園経営・園運営がなされている成果だ。 ・園児が卒園後も園の話題を口にしたり園行事を気にかけている様子から「楽しい幼稚園」なのだと分かる。 ・一部のマイナス評価の要因として、個の発達段階を超えた課題により、園生活が窮屈になり安心して楽しく過ごせない子供がいるのではないかと、幼児期の伸び伸びと遊ぶ中で育つ創造力、想像力、充実感が保障されているだろうか。 ・地域の特色を生かした教育は、故郷に愛着がもてよいことと思う。 ・今後も、園周辺の恵まれた教育環境を生かして、特色ある活動を行ってほしい。 【②幼児理解】 ・子供達一人一人の実態を把握し、適切な指導・支援が行われている。 ・どの先生も子供のことをよく見てくださっている。	○今後も、園周辺の教育施設等や、豊かな自然、文化を生かした活動を継続していく。そのためにも、関係機関・団体等との情報の送受信に努める。 ○日々の保育を園児一人一人にに適したものに配慮・工夫し、子供達の達成感や満足感を高めていく。
	②幼児理解	教職員は、一人一人の幼児の発達の姿から課題を捉えて保育を行っているか。	○日常の観察から、子供一人一人の個性や特徴を把握するよう努めた。 ○個々の得意なことや興味があることに取り組ませることでやる気を高めさせた。また、苦手意識があったり消極的になったりする事柄については、励ましや一緒にやるなどの支援を行った。	3	・「地域」の先生も子供のことをよく見てくださっている。 【③特別支援教育】 ・小学校との情報共有により、園での指導・支援の様子が分かり、支援についての円滑な幼小連携ができています。 ・支援が必要な園児と1対1になり、楽しく保育がされている。 ・保護者と教職員とのコミュニケーションをよくとり、取組(案)を実施してほしい。 【④人権・同和教育】 ・子供同士で声をかけ合ったり助け合ったりする姿がよく見られた。取組の成果が着実に表れている。 ・思いやりをもって人と接することをきちんと指導していただいている。 ・みんなが、伸び伸びと活動している。 【⑤行事】 ・明確なねらいが設定され、振り返りも丁寧になされている。運動会や生活発表会等で、子供達の主体性や成長が見られた。 ・日ごろの取組と行事がリンクするように工夫されている。双方に効果が表れ、子供の成長に大きく関わっていると感じる。 ・行事ごとに様々な工夫がされている。	○担任だけでなく、全教職員がそれぞれの立場で子供を支援できるよう、情報共有に努める。 ○保護者と教師が同じ意識で子育てや保育に向かえるようにするために、個人面談は全保護者対象に実施する。
	③特別支援教育	特別な支援を必要とする幼児の実態や課題を明確にし、計画的・組織的に指導を行っているか。	○巡回相談で得た情報をもとに、管理職、担任と補助教諭が支援方法を共通理解した。また、通級指導教室、小学校等と情報を共有し、支援に活用できる事柄を得るよう努めた。 ○該当園児の具体的な支援の仕方や支援計画等、まだ十分でない面もある。	2	・小学校との情報共有により、園での指導・支援の様子が分かり、支援についての円滑な幼小連携ができています。 ・支援が必要な園児と1対1になり、楽しく保育がされている。 ・保護者と教職員とのコミュニケーションをよくとり、取組(案)を実施してほしい。 【④人権・同和教育】 ・子供同士で声をかけ合ったり助け合ったりする姿がよく見られた。取組の成果が着実に表れている。 ・思いやりをもって人と接することをきちんと指導していただいている。 ・みんなが、伸び伸びと活動している。 【⑤行事】 ・明確なねらいが設定され、振り返りも丁寧になされている。運動会や生活発表会等で、子供達の主体性や成長が見られた。 ・日ごろの取組と行事がリンクするように工夫されている。双方に効果が表れ、子供の成長に大きく関わっていると感じる。 ・行事ごとに様々な工夫がされている。	○職員会議の中で子供に関する情報交換・共有の場をもち、全教職員が同じスタンスで支援にあたるようにする。補助教諭等にも必要な情報を提供する。 ○保護者との連絡をこまめに行い、保護者の願いや困り感を理解し、指導に反映させていく。
	④人権・同和教育	教職員は、自らの人権感覚を磨き、幼児に人権意識の芽生えを培うように配慮しているか。	○教職員は、日頃からどの子供にも平等に接する、言葉遣いに気を付けるなど、よいふるまいをするよう努めた。 ○子供間での言動に気を配り、人を傷つけるような不適切な行為があれば、その場で指導するよう心がけた。	3	・小学校との情報共有により、園での指導・支援の様子が分かり、支援についての円滑な幼小連携ができています。 ・支援が必要な園児と1対1になり、楽しく保育がされている。 ・保護者と教職員とのコミュニケーションをよくとり、取組(案)を実施してほしい。 【④人権・同和教育】 ・子供同士で声をかけ合ったり助け合ったりする姿がよく見られた。取組の成果が着実に表れている。 ・思いやりをもって人と接することをきちんと指導していただいている。 ・みんなが、伸び伸びと活動している。 【⑤行事】 ・明確なねらいが設定され、振り返りも丁寧になされている。運動会や生活発表会等で、子供達の主体性や成長が見られた。 ・日ごろの取組と行事がリンクするように工夫されている。双方に効果が表れ、子供の成長に大きく関わっていると感じる。 ・行事ごとに様々な工夫がされている。	○子供も大人も大事な一人一人であるという意識をもち、年齢差や性差に関係なく、個々の人格を認め大事にしていく。 ○園児が、よいこと・悪いことの区別がきちんとできよう、事象に応じた指導をタイムリーに行う。
	⑤行事	教職員は、行事を幼児の発達を促す機会と捉え、工夫、改善しているか。	○行事のねらいをはっきりさせ、年齢に応じためざす子供の姿をもちながら指導にあたった。 ○運動会や発表会などでは、日々取り組んでいる表現活動や運動、飼育・観察などを内容に盛り込み、行事と関連付けるよう意識した。活動後の保護者感想からも「子供の成長を感じた」等の意見が多く寄せられた。 ○地域の教育施設を計画的に活用し、本園ならではの特色をもたせた。	3	・朝陽小学校と隣接していることを生かし、よく連携できている。このことを、他の施設に在園する子供の保護者や未就園児の保護者にも伝えられるとい。 ・隣の朝陽小学校との交流は、頻繁に行われている。 ・様々な形で連携がなされている。 【その他】 ・園児数減少にもなる職員数の減少が職員の余裕を奪っているのではないかと懸念する。今日の社会情勢に応じた幼稚園教育施策の見直しを出雲市として取り組んでほしい。	○行事がイベント的なことに終わらないよう、日々の保育と行事を関連付け、首尾一貫したものになるよう、見直しをもって取り組んでいく。 ○子供達の興味・関心が続き、さらに高まるよう、長期・短期の目標をもって保育を行う。
	⑥保幼小連携	近隣の小学校等との連携を密にし、なめらかな接続に努めているか。	○最寄りの朝陽小学校へは、体育会や連合音楽会の練習、学習発表会校内発表会を見に行くことができた。また、年長児は、朝陽小・伊野小・離分小への小学校見学を行い、就学に向けて気持ちを高めさせた。 ○向陽中学校からは、3年生が交流に訪れ園児と親しく活動することができた。子供達は、大喜びだった。	3	・朝陽小学校と隣接していることを生かし、よく連携できている。このことを、他の施設に在園する子供の保護者や未就園児の保護者にも伝えられるとい。 ・隣の朝陽小学校との交流は、頻繁に行われている。 ・様々な形で連携がなされている。 【その他】 ・園児数減少にもなる職員数の減少が職員の余裕を奪っているのではないかと懸念する。今日の社会情勢に応じた幼稚園教育施策の見直しを出雲市として取り組んでほしい。	○幼稚園、各小学校の年間行事計画や月行事予定を交換し、交流可能な行事・活動の確認を行う。 ○年度初めに職員同士の顔合わせ会を行い、スムーズな連携につなげていく。 ○近場の朝陽小はもとより、伊野小、離分小や園児の就学先小学校とも積極的な連携を行う。
家庭・地域との連携	⑦家庭・地域との連携	幼稚園と保護者、幼稚園と地域（未就園児等）との協力関係はできているか。	○子供に関する情報は、電話や連絡帳を使ってこまめに連絡をするようにした。特に、健康面に関することは電話で伝えたり、預かり利用者には迎える時等に直接話したりした。 ○地域の行事に参加したり、地域の方と共に活動したりして地域連携を図るようにした。また、未就園児教室も定期的に行い、本園のよさを知ってもらうよう努めた。	3	・園からの便りには、子供達の様子が分かりやすく伝わるような紙面づくりがなされており、家庭・地域との連携に役立っている。 ・地域の方と一緒に取り組む「稲刈り」や「はではば」での活動等は、貴重な体験となっている。今後も継続してほしい。 ・立地条件が素晴らしい、地域と連携して東幼稚園らしい取組ができている。 ・幼稚園側からの情報発信は十分できているが、保護者の要望を聞き応える場があるとうい。	○直接話ができない保護者へも、子供達頑張ったり成長の様子をクラスだよりや連絡帳を活用して伝えていく。 ○園のたよりや地元テレビを活用し、園の様子を地域に積極的に発信する。また、地域行事へも可能な限り参加し、園児の頑張りをじかに見てもらう。
研修	⑧研究・研修	教職員一人一人が、国内外の研究・研修の機会を自己研鑽の場として受け止め、進んで研究・研修に取り組んでいるか。	○出雲市幼稚園研究会(市幼研)で行う教育研究大会や島根県大会(雲南大会)に参加し、自己研鑽に努めた。また、同じく市幼研の講演会や領域別研修会に参加し、課題意識をもちながら研修に努めた。	3	・しつかり取り組まれていて、敬服する。ただ、先生方の負担が増えすぎないことを願う。	○各自が学んだことを職員会議で伝達したり、普段の保育後、話題にあげたりして、保育力の向上につなげていく。
組織運営	⑨園務	教職員は、他教職員と協働し、計画的に園務を遂行しているか。	○職員は、担当の園務について、他の職員とも相談しながら取り組むよう努力した。 ○限られた職員数で業務にあたらなければならない。保育や保育にかかわる準備等を優先させると、十分に対応できなかつたり、時間外で処理したりなど、課題もある。	3		○園児数の減少に伴い、教職員数にも影響が出ると思われる。「これまで通り」ではなく、内容に応じ軽重を付けながら取り組んでいく。 ○子供達にとって必要かどうかを見極め、教職員の過度な負担にならないよう配慮していく。
安全管理・保健管理	⑩危機管理	園の危機管理及び幼児の安全や衛生の管理体制を全教職員が理解し、適切な対応に努めているか。	○“コロナ”が5類に移行したが、園では引き続き「健康チェック表」を活用し子供達の健康状態の把握に努めた。また、子供達への手洗い・うがい指導と職員による換気や消毒も継続して行った。 ○避難訓練、不審者対応訓練・防犯教室を計画的に行った。避難訓練にあわせ、保護者への引き渡し訓練も行った。おおむね、スムーズに実施することができた。	3	・適正に行われている。	○引き続き適切な感染対策を行い、子供達や教職員の健康・安全を確保する。 ○実際の災害時を想定して、実施方法を見直ししながら、避難訓練や引き渡し訓練をしていく。
教育環境整備	⑪園地・園舎・遊具等の施設・整備	園地・園舎・遊具等の施設・設備を定期的に点検し、必要な改善・管理を行っているか。	○毎月、職員で園舎内外、遊具の安全点検を行った。修理が必要な箇所は、早急に対応するようになっている。 ○園庭の草刈りは、できるだけ職員が行うようにした。しかし、なかなかカバパシきれないので、保護者ボランティアにお世話になった。	3	・園内外共に、子供達が活動しやすいように整えられている。 ・早朝出勤者が、園地管理をこまめにやっているのを見かける。 ・園庭は、自然と接することができるようにしてある。自然観察等で行く朝陽小学校の子供達にとっても魅力的な場所となっている。 ・園児数が減る中で、人手が少なくなり年々大変になってきている。地域のサポートなども今後必要になってくると思う。地域の方にもお願いしてはどうか。	○今後も定期的な安全点検を行い、異常を認めた際は速やかに対応する。 ○園庭の環境維持には人手がかかる。来年度も、朝陽小・小学校校務員に援助を依頼する。また、保護者にもお願いし、環境整備ボランティアを募る。必要な財政措置を出雲市にお願いする。